

請願第2号

国に対し、「消費税減税を求める意見書」の提出を求める請願書

(請願趣旨)

国民は新型コロナウイルス問題及び政府による自粛要請に対応し、特に中小企業経営者及び被雇用者は経済的負担に耐え抜く努力を行っています。しかし、国民所得低下や雇用不安定化などは避けがたい状態となっています。

2019年末に8%から10%に引き上げられた消費税引き上げ等の影響もあり、同年10月から12月までの四半期実質GDPマイナス7.1%(年率)という大幅な減退となっています。前述の新たな経済危機の状況にも鑑み、生活者目線に立って、消費税減税を行うことが必要です。

社会保障の原資は着実な経済成長がもたらす果実であり、国民所得を引き上げ、雇用を創出し、生活環境を改善することです。その結果として感染症対策を支える公衆衛生が改善し、高齢者・障害者等の福祉の財源も充実します。

消費税減税は地方財源に影響を与えることも想定されますので、同減税に伴って国が地方公共団体に対する財政措置を行うことも重要です。


以上の趣旨から下記事項について請願いたします。

(請願項目)

- 1 消費税率の引き下げを国に求める意見書の提出を請願いたします。

令和2年5月25日

紹介議員
楠山 栄子

請願者


流山市議会議長 青野 直 様